

# ステアリングダンパーキット 取扱説明書

製品番号 06-01-0060

適応車種及び  
フレーム番号 モンキー (F1) (AB27-1900001 ~)

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。  
使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。  
万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

## ☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

- ◎当製品は、モンキーノーマルフロントフォーク専用設計になっております。他の車種にはご使用出来ませんので、ご注意ください。
- ◎ステアリングダンパーは油中組み付け作業により、オイルが付着している場合がありますが、オイル漏れではございません。ご了承下さい。
- ◎フレーム下に取り付けるタイプの弊社製コンパクトクール（オイルクーラー）は、カラーを使用し、コンパクトクールを下に下げれば、ステアリングダンパーは回避できますが、ハンドルを右いっぱいに切った際に、フロントブレーキワイヤーがコンパクトクールに引っかかる為、弊社としましては、適応外とさせて頂いております。予めご了承下さい。
- ◎左いっばいにハンドルを切った際にステアリングダンパーのロッドが左足に当たる恐れがありますので十分にご注意下さい。
- ◎ダンパーの分解や改造は絶対にして下さい。オーバーホールは弊社にて受け付け致します。弊社にお問い合わせ下さい。  
■オーバーホール受付番号：00-00-10
- ◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により、事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。
- ◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。
- ◎当製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。
- ◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
- ◎アルマイト製品は経年変化により、色褪せ等発生する場合があります。予めご了承下さい。
- ◎不明な点がございましたらお買い求め販売店にお問い合わせ下さい。

## ～特徴～

- ステアリングダンパーはハンドルの振れ、路面からのキックバックを吸収することが出来、走安性を向上します。
- 減衰力特性とフリクションロスの低減によりスムーズな作動を実現し、高負荷時には適切なダンピングを得ることが出来ます。
- ストロークを 90 mm に設定し、18 段階の減衰力調整を採用しております。
- アジャストストロークを 1 ノッチ約 0.17 mm の調整幅にする事で、オイル通路を通過するオイル量を制御し、よりシビアな調整を可能としています。

**⚠ 注意** この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害が想定される内容を示しています。

- 作業等を行う際は、必ず冷間時（エンジンおよびマフラーが冷えている時）に行ってください。（火傷の原因となります。）
- 作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品の破損、ケガの原因となります。）
- 規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。（ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。）
- 製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。（ケガの原因となります。）
- 走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みがないかを確認し緩みがあれば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。（部品の脱落の原因となります。）
- ステアリングダンパーをステアリングストッパーの代用品としては使用しないで下さい。（部品の破損、ケガの原因となります。）

**⚠ 警告** この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- エンジン回転中や、エンジン停止後しばらくの間は、エンジン及びマフラーは高温になっています。近くにガソリン等の危険物や燃えやすい物を絶対に置かないで下さい。（火災につながる恐れがあります。）
- 走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。（事故につながる恐れがあります。）
- 作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）
- 点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。（そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。）
- 製品梱包のビニール袋は、幼児の手の届かない所に保管するか、廃棄処分して下さい。（幼児がかぶったりすると、窒息の恐れがあります。）
- 走行中にステアリングダンパーの減衰調整を絶対に行わないで下さい。調整は車両が停止状態時に行ってください。（事故につながる恐れがあります。）

- ◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品および価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。
- ◎クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後 1 ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。  
但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。  
なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。
- ◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいますようお願い致します。

株式会社 スペシャルパーツ 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東 3-5-16  
TEL:0721-25-1357 FAX:0721-24-5059 URL <http://www.takegawa.co.jp>  
お問い合わせ専用ダイヤル：0721-25-8857



番号	部品名	個数	リペア品番
1	ステアリングダンパー ASSY.	1	
2	ダンパーホルダー	1	53720-RSD-T00
3	ダンパーステ COMP.	1	53731-181-T00/A
4	スペーサー 10mm	1	53750-RSD-T00
5	フレームステー	1	73740-165-T00
6	Uボルト (SUS)	1	73741-165-T00
7	フランジ Uナット 6mm	2	00-00-0091 (6ヶ入)
8	六角ナット 8mm	1	00-00-0430 (4ヶ入)
9	ソケットキャップスクリュー 5x25	2	00-00-0506 (6ヶ入)
10	ボタンヘッドソケットスクリュー 8x35	1	00-00-0379 (4ヶ入)
11	ボタンヘッドソケットスクリュー 8x45	1	00-00-0329 (2ヶ入)
12	プレーンワッシャ 8mm	3	00-00-0076 (10ヶ入)
13	ロッドエンド オネジ 8mm	1	00-00-0073
14	ステアリングダンパーステッカー	1	00-00-0671

※3 ダンパーステ COMP. には、9 ソケットキャップスクリュー 5x25 を含んでおります。

※リペアパーツは必ずリペア品番にてご注文下さい。品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。

尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいませお願い致します。

■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

- 車両をメンテナンススタンドにかけ、車体を安定させて下さい。
- 左サイドカバーとシートを取り外します。



- ヘッドライトケースからヘッドライトを取り外し、メインハーネスを留めているクリップを取り外します。ヘッドライトステーとヘッドライトケースを留めているボルトを緩めていくと、ヘッドライトケースナットが取れて、よりクリップが外しやすくなります。



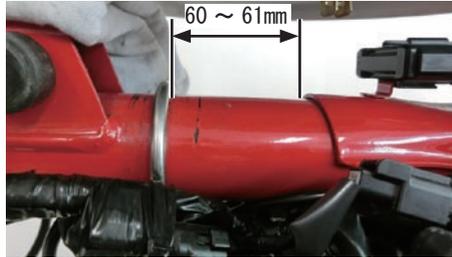
- メインハーネスをヘッドライトケース後ろからメインハーネスについているクリップが出てくるまで引っ張り出し、メインハーネスを写真のようにして下さい。



- フューエルタンクを外すか又はUボルトが取り付け出来るぐらいの隙間を確保して下さい。



- フレームステーにロッドエンドと六角ナット 8mm を仮締めし、フレームステーをUボルトとフランジUナット 6mm でフレームに仮締めして下さい。この時フレームステーはメインハーネスの下を通して下さい。



- ダンパーステをフロントフォーク左側に取り付けヘッドライトステーにあたるところで仮締めして下さい。



- ステアリングダンパーをダンパーホルダーに通して、ボタンヘッドソケットスクリュー 8x45、ワッシャ、フレームステーロッドエンド、ワッシャ、ダンパーホルダーの順に取り付けを行い、ボタンヘッドソケットスクリュー 8x45 を規定トルクで締め付けます。

※ステアリングダンパーの減衰調整を最弱にして、取り付けを行って下さい。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。  
ボタンヘッドソケットスクリュー 8x45  
トルク：16N・m (1.6kgf・m)



■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

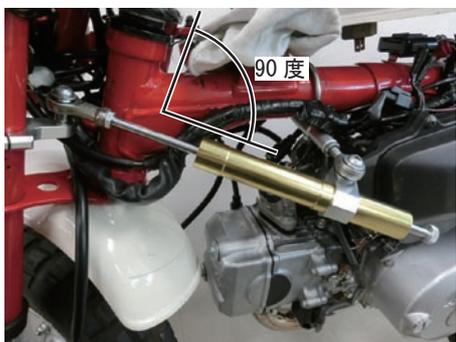
○ステアリングダンパーロッドエンドをダンパーステーに取り付けていきます。ボタンヘッドソケットスクリュー 8x35、ワッシャ、ステアリングダンパーロッドエンド、スペーサー 10mm、ダンパーステーの順に取り付けを行い、ボタンヘッドソケットスクリュー 8x35 を規定トルクで締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。  
ボタンヘッドソケットスクリュー 8x35  
トルク：18N・m (1.8kgf・m)



○フレームステーの角度を合わせます。ステアリングステムとダンパーが真横から見て 90 度になるように角度を調整します。もしスロットルケーブルのガイド部にフレームステーが干渉する場合は、フレームステーが干渉しないようにガイド部を調整して下さい。フレームステーの角度が決まりましたら、フレームステーのフランジナット 6mm を規定トルクで締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。  
フランジナット 6mm  
トルク：10N・m (1.0kgf・m)



○フレームステーロッドエンドとダンパーステーが平行になるようにし、6 角ナット 8mm を規定トルクで締め付けます

▲注意：必ず規定トルクを守る事。  
6 角ナット 8mm  
トルク：20N・m (2.0kgf・m)



○ステアリングを左右にロック状態まで切り、ステアリングダンパーとフロントフォーク及びフレームが当たらないようにダンパーステーの角度を調整して下さい。ステアリングダンパーがステアリングストッパーにならないように注意して下さい。調整が出来たら、ソケットキャップスクリュー 5x25 を規定トルクで締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。  
ソケットキャップスクリュー 5x25  
トルク：8N・m (0.8kgf・m)



○最後にステアリングを左右にロック状態まで切り、ダンパーステーがメインハーネスに引っかかっていないか、ステアリングダンパーが動作する上で、どこも干渉がないかを確認して下さい。

○ヘッドライトケースナットを戻し、規定トルクで締め付け、ヘッドライトも戻して、規定トルクで締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。  
ナット  
トルク：10N・m (1.0kgf・m)  
ヘッドライトスクリュー  
トルク：5N・m (0.5kgf・m)

○タンクを戻し、フューエルリザーブセンサーがフレームステーのロッドエンドに当たらないことを確認し、フューエルタンクのボルトを規定トルクで締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。  
ボルト  
トルク：22N・m (2.2kgf・m)



○シートを取り付け、規定トルクで締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。  
前側  
トルク：22N・m (2.2kgf・m)  
リアショック上側  
トルク：30N・m (3.0kgf・m)



○ステアリングダンパーの減衰調整は、アジャスト部を右回転（時計回り）すると強くなり、左回転（反時計回り）にすると弱くなります。調整は最弱状態から徐々に行い、適度なダンピングに調整して下さい。必要以上には強めないで下さい。